

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年2月22日
明治大学の所属学部・研究科	商学部
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2023年2月13日
明治大学卒業予定年月	23年3月
<b>留学先大学について</b>	
留学先国	イタリア共和国
留学先大学	ヴェネツィア大学(日本語名) Università Ca' Foscari(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	イタリア語/英語
留学期間	2022年9月～2023年2月
留学先大学で在籍した学年	1年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9月中旬～2月上旬      2 学期: 2月中旬～8月中旬 3 学期:                            4 学期:
学生数	16,851
創立年	1868年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (EUR)	日本円	備考
授業料	0	0円	協定校留学のため学費なし
宿舍費	€2.150	322,500円	家賃€400
食費	€2.100	304,500円	
図書費	€25	3,625円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	€84.45	12,250円	初月€35、毎月€9.89
現地交通費	€150	21,750円	バス&ヴァレット定期 一ヶ月€25(□大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	€1.200	174,000円	
被服費	€30	4,350円	
医療費	0	0円	
保険費		63,510円	形態:明治大学指定保険
渡航旅費		約187,400円	往路 ¥10,3470 復路 €590,96
ビザ申請費	0	0円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		1,082,860円	

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地:成田国際空港 目的地:ミラノ・マルペンサ空港 経由地:アブダビ国際空港	
復路 出発地:ヴェネツィア・テッセラ空港 目的地:成田国際空港 経由地:アブダビ国際空港	
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:エティハド航空 料金:¥10,3470 復路 航空会社:エティハド航空 料金:€590,96 ∴合計:¥187,400	
<b>航空券購入方法</b>	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:公式サイト) <input type="checkbox"/> その他( )	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

 学生寮(寮の名前: )  アパート  ホームステイ

2)部屋の形態

 個室  相部屋(同居人数 )

3)共有部分

 バス  トイレ  キッチン( 自炊可  自炊不可)

4)住居を探した方法:

パディの友達の大家さんをパディに紹介してもらいました。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

詐欺にはくれぐれも気をつけてください。本当に住むところありません。何人も滞在先が決まらない状態で渡航している人がいるレベルです。家のトラブルが一切なかった人は知り合いにいませんでした…

フラットメイトがあまり社交的なタイプではなく、自分もそこまで仲良くなる必要性を感じず、あまり良好な関係を築けませんでした。特にトラブルはありませんでしたが、冷凍庫によく霜が降ってましたね…

フラットメイトは引きこもりであまり仲良くなれませんでした。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

 なし  
 あり(治療を受けた場所: )2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。  
(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等) なし  
 あり(問題の内容や相談した人等:パディ、留学先大学の弁護士、明治大学国際連携事務室)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

現地の友達から危険な道などを教えてもらっていました。あとはとにかく道の端を注視しながら道を選ぶようにしていました。カバンの口など、かなり注意深く対策をしていたためか盗難などに巻き込まれることはありませんでした。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

携帯電話は建物内では繋がらないことが多いです。家と大学には Wifi があるので特に困ることはありませんでしたが、美術館とかで使えないのが少し困りました。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

全てクレジットカードと、クレジットカードの海外キャッシング枠を利用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

100%調達できないわけではないのですが、箸とか持っていくと良いと思います。日本で買った方があきらかに安いので。生理用品も日本製が圧倒的に快適です。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
6 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:卒業単位を満たしているため)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他(    ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Venetian Art and Archology	ヴェネツィアの芸術と建築
科目設置学部・研究科	SIE 科目
履修期間	12/10/2022~2/12/2022
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+遠足(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回
担当教授	Prof. Pilutti Namer Myriam
授業内容	ヴェネツィアの彫刻、絵画、建物についての講義。
試験・課題など	記述試験
感想を自由記入	他にも History of Venice を聴講したのですが、三つの授業の中で、この授業が一番面白い授業でした。授業で出てきた絵や建物を実際に観に行くことができます。例えば、私が読んだ論文にはサン・マルコ寺院のモザイク画はイタリアの他の地域の絵と全く異なり、それが権威に繋がっていたという記載があったのですが、それを実際に目で見て比較し、雰囲気の違いを体験することができました。他にも、ヴェネツィアのルネサンス画家の絵はイギリスやオーストリアなど他の国にも散らばっていて、他の国に観光に行った時もその知識を活かすことができます。遠足では現代美術を見に行ったのですが、自分一人では全く理解できない芸術を解説してもらうことで少し理解が進みました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Modern and Comtemporary History	近現代史
科目設置学部・研究科	Linguistics and Comparative Cultural Studies
履修期間	14/9/2022~16/12/2022
単位数	12
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+任意の生徒プレゼン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が3回
担当教授	Prof. Petri Rolf
授業内容	産業革命以降の世界史と思想
試験・課題など	テストの登録を忘れて受けられませんでした。口述試験と筆記試験、レポートを併用していました。
感想を自由記入	世界史の概要だけでなく、それがどのようにして生まれたのか、思想などを学ぶことができて興味深かった。 生徒プレゼンも周りの生徒の英語力の高さに圧倒され、自分も頑張らなくては行けないと思った。生徒が積極的に発言しているのも印象的で、日本とはかなり雰囲気が違うと感じた。最終テストに向けた課題や勉強が大変だったのに、テスト登録を忘れてしまったことが非常に悔やまれる。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
日本で就職先を決定しているので他の就活生と何ら変わりはありませんが、マイナビや明治大学のキャリアセンターを利用しました。
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
株式会社バンダイナムコエンターテインメント 自分が全力で取り組んだものや施策で誰かを笑顔にできる仕事ができるという軸にハマっていたからです。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学する前に就職活動を終わらせてしまえば、半年ですが何の不安もなく留学できると思います。 会社の研修や内定式などはかなりキツイ時間帯になってしまいますが、それ以外は特に問題はありません。私は選考段階ではあまり海外支社への出向は考えていませんでしたが、留学を経てかなり興味を持ち始めました。イタリアはかなり良い市場なのではないかと今は思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、  
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL 受験勉強開始
	10月～12月	TOEFL 受験、出願、選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	航空券購入
	8月～9月	ビザ申請・取得、渡航
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	期末試験、帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

ヴェネツィア大学を選んだ理由は立派なものを並べ立てられますが、そんなことはどうでも良いと思います。私にとっては、どこで留学をするかはそこまで大きな問題ではありませんでした。ありきたりな言葉ですが、視野が広がるのが目標で、それは達成できたと思います。

今まで、明治大学商学部の閉ざされた人間関係に属していた私は英語を使う機会も、外国の方と話す機会もほとんどありませんでした。しかし、この半年間の人との交流や日常生活、旅行を通して、日本がヨーロッパから見るといかに異質な存在であるかを理解しました。そして、日本の良いところにたくさん気づきました。ヴェネツィアは特に不便な街ですし、ローマの経済レベルも東京と比べれば低いと思います。あまりに非合理的なことが多く、カルチャーショックもたくさんありました。ステレオタイプで語るのはいくつかは重々承知の上ですが、イタリア人は怠惰ですが、すごく優しく、見返りを求めない人が多いです。オーストリアに一人旅に初めて行った時にもホテルや電車、バーで色々な国の人と出会い、友達になり、文化を学ぶことができた有意義な旅になりました。

加えて、イタリアという自国の芸術に誇りを持っている国に住むことで、今まで遠い存在だった芸術にも深く関わるきっかけになりました。日本では美術館に足を運ぶことはほとんどありませんでしたが、ヨーロッパに来てからは多く行くようになりました。教会も同様で、建築にも目を向けるようになり、国や時代で変化する建物の面白さにも気づきました。自分の中のただの知識だったものに経験が伴っていくというのは本当に人間としての説得力や自分の中の納得感につながると実感しました。

あなたが今過ごしている国、地域、環境がどんなに恵まれているのか、もしくは異質なのか、他の世界を見ないことには分かりません。そのモノサシを手に入れるためには違う価値観を持った人と関わるのが重要です。留学先で、日本人と会話をすることが絶対に嫌という人にはヴェネツィア大学はお勧めしません。でも、よく考えてください。異なるバックグラウンドを持っているのは外国人だけでなく、日本人同士でもそうです。それも一つの固定概念なのではないでしょうか。

この半年間は、視野の広い人間になりたいという私の人生の目標にかなり大きく踏み出せた経験でした。留学に限らず、逃げたら一つ、進めば二つ、です。あなたにとって一番良い選択ができることを祈っています。